こども教育学部カリキュラムツリー

こども教育学部 カリキュラム・ポリシー

CP1
大学教育への円滑な導入を図る初年次教育として、思考力を涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけるための科目を配置します。

CP2
幅広く深い教養を培い、豊かな情操や高い倫理観を涵養するために、教養教育科目を配置します。

CP3
幼稚園教諭養成課程及び保育士養成課程として必要な資質・能力を養うために必要な科目を中心に専門教育科目を段階的、系統的に配置します。また保育者として学び続ける態度を涵養するとともに、実習・実習指導・実践演習等を系統的に配置し、省察を深め資質・能力の向上を図ります。

CP6
幼児教育、保育、特別支援教育について専門性を深めるための科目を系統的に配置し、4年次では、それまでに培った実践力・研究力を基に卒業研究を行います。

CP5
幼児教育、保育、特別支援教育の専門職としての対人的な基本的資質・能力を育成し、他者との適切なコミュニケーションにおいて受容・理解・共感し、周囲と連携・協働しながら安全に組織を運営する力を身につけるための科目を配置します。

CP4
特別な支援を必要とする乳幼児を理解し、保育する力を養うための科目を系統的に配置します。また特別支援学校教諭の養成課程を設け、特別な支援について、より学びを深めることができるようにします。

教養教育科目

全学共通開講科目

- 熊本学 1（1年次 前期）→ 日本伝統文化入門 1（1年次 後期）→（4年次 後期まで）

教養基礎

- 基礎セミナー 1（1年次 前期）→ キャリアデザイン 1（1年次 後期）→（4年次 前期）キャリアトレーニング 1
- 日本語表現Ⅰ 1（1年次 後期）→ 日本語表現Ⅱ 2（2年次 前期）
- 心理学 2（1年次 前期）
- 生命倫理 2（1年次 後期）
- 音楽 2（2年次 前期）
- 女性と社会 2（1年次 前期）
- 人権教育 2（1年次 後期）
- 日本国憲法 2（1年次 前期）
- 異文化理解 2（1年次 後期）
- 食の健康科学 2（1年次 前期）
- 子どもと環境 1（2年次 前期）
- 保健体育 1（1年次 前期）
- 体育実技Ⅰ 1（1年次 前期）
- 体育実技Ⅱ 1（2年次 前期）

多文化コミュニケーション/外国語

- 英語Ⅰ 1（1年次 前期）→ 英語Ⅱ 1（1年次 後期）→（3年次 後期）海外語学研修（英語） 1
- 中国語Ⅰ 1（1年次 前期）→ 中国語Ⅱ 1（1年次 後期）→（3年次 後期）海外語学研修（中国語） 1
- 韓国語Ⅰ 1（1年次 前期）→ 韓国語Ⅱ 1（1年次 後期）→（3年次 後期）海外語学研修（韓国語） 1

情報・ICT

- 情報処理Ⅰ 1（1年次 前期）→ 情報処理Ⅱ 1（1年次 後期）
- プレゼンテーション演習 1（2年次 後期）

専門教育科目

教育・保育の探求

- 教育原理 2（1年次 前期）
- 保育原理 2（1年次 前期）
- （兼）保育・教育課程論 2（2年次 前期）
- （兼）保育者論 2（2年次 後期）
- 保育ICT演習 1（3年次 後期）
- （兼）教育心理学 2（2年次 前期）
- 基礎演習Ⅱ 1（1年次 後期）
- 保育・幼児教育研究法Ⅰ 1（2年次 前期）
- 保育・幼児教育研究法Ⅱ 1（2年次 後期）
- 保育・幼児教育研究Ⅰ 1（3年次 前期）
- 保育・幼児教育研究Ⅱ 1（3年次 後期）
- 保育・幼児教育研究Ⅲ 1（4年次 前期）
- 保育・幼児教育研究Ⅳ 1（4年次 後期）
- 卒業研究・卒業論文 1（4年次 後期）

教育・保育の知識・技能

- 保育内容総論 1（1年次 前期）
- 教育方法論Ⅰ 2（2年次 後期）
- （兼）幼児理解 1（2年次 後期）
- 教育方法論Ⅱ 1（3年次 前期）
- 教育相談 2（3年次 前期）
- （兼）保育・教職実践演習 2（4年次 後期）
- 保育内容-健康 1（1年次 前期）
- 保育内容-環境 1（1年次 後期）
- 保育内容-音楽表現 1（2年次 前期）
- 保育内容-人間関係 1（2年次 後期）
- 保育内容-言葉 1（1年次 前期）
- 保育内容-造形表現 1（2年次 前期）
- 健康の指導法 2（1年次 後期）
- 言葉の指導法 2（1年次 後期）
- 環境の指導法 2（2年次 前期）
- 表現（音楽）の指導法 1（2年次 後期）
- 表現（造形）の指導法 1（2年次 後期）
- 人間関係の指導法 2（3年次 前期）
- 複合領域の指導法Ⅰ 2（3年次 後期）
- 複合領域の指導法Ⅱ 2（4年次 前期）
- 音楽基礎 1（1年次 前期）
- 器楽Ⅰ 1（1年次 後期）
- 器楽Ⅱ 1（2年次 前期）
- 器楽Ⅲ 1（2年次 後期）
- 器楽Ⅳ 1（3年次 前期）
- 身体表現 1（2年次 後期）
- 子どもの食と栄養 2（3年次 前期）
- 食育論 2（3年次 後期）
- 乳児保育Ⅰ 2（2年次 前期）
- 乳児保育Ⅱ 1（2年次 後期）
- 子どもの保健 2（1年次 後期）
- 子どもの健康と安全 1（2年次 後期）
- 基礎演習Ⅰ 1（1年次 前期）
- 教育実習指導Ⅰ 1（2年次 前期）→（4年次 前期）教育実習指導Ⅱ 1
- 保育実習指導ⅠA 1（2年次 後期）
- 保育実習指導ⅠB 1（3年次 前期）
- 保育実習指導Ⅱ 1（3年次 後期）
- 保育実習指導Ⅲ 1（3年次 後期）
- 教育実習Ⅰ 1（2年次 後期）→（4年次 前期）教育実習Ⅱ 3
- 保育実習ⅠA 2（2年次 後期）
- 保育実習ⅠB 2（3年次 前期）
- 保育実習Ⅱ 2（3年次 後期）
- 保育実習Ⅲ 2（3年次 後期）

子育て支援

- 子ども家庭支援の心理学 2（1年次 後期）
- 子ども家庭福祉 2（1年次 後期）
- 子ども家庭支援論 2（3年次 前期）
- 子育て支援 1（3年次 後期）

教育・保育の連携・協働

- 社会福祉 2（1年次 前期）
- 社会的養護Ⅰ 2（2年次 前期）
- 社会的養護Ⅱ 1（3年次 前期）
- 保育ソーシャルワーク実践演習 1（4年次 前期）
- 教育社会学 2（3年次 前期）
- 保育における連携・接続 2（3年次 後期）
- 保育マネジメント論 2（4年次 前期）

特別な支援を必要とする子どもの理解と援助

- （兼）特別支援教育概論（障害児保育を含む） 2（1年次 前期）
- 知的障害児の心理・生理・病理 2（1年次 後期）
- 知的障害児教育論 2（2年次 前期）
- 知的障害児の言語指導 2（2年次 後期）
- 障害児教育総論 2（1年次 前期）
- 病弱児の心理・生理・病理 2（1年次 後期）
- 病弱児教育論 2（2年次 前期）
- 療育論 2（3年次 前期）
- 療育論演習 1（3年次 後期）
- 肢体不自由児の心理・生理・病理 2（2年次 前期）
- 肢体不自由児教育論 2（2年次 後期）
- 重複/発達障害教育総論 2（3年次 前期）
- 障害児教育課程論 2（3年次 前期）
- 視覚障害児教育総論 2（3年次 後期）
- 聴覚障害児教育総論 2（3年次 後期）
- 特別支援教育コーディネーター論 2（3年次 後期）
- 特別支援学校教育実習指導 1（4年次 前期）
- 特別支援学校教育実習 2（4年次 後期）

こども教育学部 ディプロマ・ポリシー

DP1
保育専門職また社会人として豊かな教養に支えられた総合的な人間力を身につけている。

DP2
社会に貢献し得る専門的知識・技能を常に求めて学び続けるとともに、研究を深めて課題を発見・解決する力を身につけている。

DP3
一人一人の子どもへの深い洞察と環境への理解に基づき、保育・教育を構想・実践・評価し向上させる力を身につけている。

DP5
保護者など子どもを取り巻く人々に対し共感をもって深く理解し、援助しつつともに子どもを育てていく力を身につけている。

DP6
家庭や地域社会とのつながりを重視し、周囲と連携・協働して安全に組織を運営していく力を身につけている。

DP4
特別な支援を必要とする子どもに対して、適切な理解に基づいて保育を実践し、育ちを支える力を身につけている。

幼稚園教員に求められる専門性
（H14.6 幼稚園教員の資質向上について（報告））

①幼稚園教員としての資質

②幼児理解・総合的に指導する力

③具体的に保育を構想する力、実践力

④得意分野の育成、教員集団の一員としての協働性

⑤特別な教育的配慮を要する幼児に対応する力

⑥小学校や保育所との連携を推進する力

⑦保護者及び地域社会との関係を構築する力

⑧園長などの管理職が発揮するリーダーシップ

⑨人権に対する理解

保育士に求められる主要な知識及び技術
（H30.2 保育所保育指針解説）

①これからの社会に求められる資質を 踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術

②子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術

③保育所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術

④子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術

⑤子ども同士の 関わりや子どもと保護者の関わりなどを見守り、その気持ちに寄り添いながら適宜必要な援助をしていく関係構築の知識及び技術

⑥保護者等への相談、助言に関する知識及び技術

特別支援学校教員に求められる専門性
（H19.4 教育職員免許法改正）

①5つの障害種別（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱）に共通する専門性として、特別支援教育全般に関する基礎的な知識（制度的・社会的背景・動向等）

②それぞれの障害種別ごとの専門性として、各障害種の幼児児童生徒の心理（発達を含む）・生理・病理に関する一般的な知識・理解や教育課程、指導法に関する深い知識・理解及び実践的指導力

③特別支援学校のセンター的機能を果たすために必要な知識や技能（特別支援学校の特別支援教育コーディネーターには、小・中学校に比し、より幅広い専門性が要求される）

赤字：卒業必修科目
黒字：卒業選択科目
（兼）：幼免・保育士兼ねる科目
数字：単位数

幼稚園免許科目
保育士資格科目
特別支援免許科目